

通信利用動向調査 用語の解説

【世帯編】

問1 情報通信機器の保有状況、利用状況		
	携帯情報端末 (PDA)	本調査では、「スケジュール、住所録、メモなどの個人の情報を管理する電子秘書機能」と「携帯電話やPHSなどを通じて電子メールやインターネット、社内LANへのリモートアクセス機能」を持つ、手帳サイズ以下のコンピュータを指す。なお、ノートパソコンは含まない。
	カー・ナビゲーション・システム	衛星からの信号で自動車の位置を判別し、進行方向などを地図画面上に表示するシステムのこと。
	ETC車載器	自動車を止めずに有料道路の課金などを処理するシステム(ETC)利用の際に、料金所などのアンテナとの通信に必要な、自動車に搭載する端末。
	IP電話	通信ネットワークの一部又は全部においてIP(インターネットプロトコル)技術を利用して提供する音声電話サービス。
問2 インターネットの利用状況		
	ISDN回線	Integrated Service Digital Network の略。電話、FAX、テレックス、データ通信等を統合するデジタル通信網の一般的な名称。
	光回線(FTTH回線)	光ファイバによる、高速伝送の可能なデータ通信サービス。光ファイバとは、ガラス繊維でできたケーブルで、光通信の伝送路に使う。
	固定無線回線 (FWA)	Fixed Wireless Access の略。 加入者側建物にアンテナを設置し、電気通信事業者の設置する基地局アンテナと無線で接続するシステム。
	BWA	広帯域移動無線アクセスシステム(Broadband Wireless Access の略)。 信号を伝えるケーブルの代わりに無線(電波)を使うデータ通信サービスの総称。モバイルWiMAXやXGPがある。
	DSL回線	既存の電話回線を利用して高速伝送を可能にする技術で高速インターネット接続が可能になるもの。ADSL、VDSL、HDSL、SDSLなどがある。
	ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line(非対称デジタル加入者線)の略。電話局から各家庭や事業所まで引かれている、銅線の加入者電話回線を利用して、数 Mbps から数十 Mbps の高速データ通信を可能にする通信方式。ADSLでは、データの伝送方向(ユーザーから見て発信の「上り」と受信の「下り」)の速度の違いが非対称となっている。
	第3世代携帯電話	ITU(国際電気通信連合)によって定められた「IMT-2000」規格に準拠したデジタル方式の携帯電話。
問3 インターネット利用における被害状況		
	不正アクセス	政府機関、企業、団体等の内部のコンピュータ・ネットワークに外部から正規の手続を経ずに不正に侵入する行為。
	スパイウェア	パソコン内のアクセス履歴等の個人情報収集し、外部に送信するアプリケーションソフト。

通信利用動向調査 用語の解説

	フィッシング	金融機関等からの電子メールを装い、電子メール受信者に偽のホームページにアクセスするよう仕向け、そのページでクレジットカード番号・ID・パスワード等の個人の金融情報を入力させるなどして、個人情報をも不正に入手する行為。
問5 フィルタリングソフト等		
	フィルタリングソフト/サービス	インターネットのウェブページ等を一定の基準で評価判別し、違法・有害なウェブページ等の選択的な排除等を行うソフトウェア/サービス。
(世帯構成員)問4 インターネットの利用目的・用途		
	ブログ	ブログは、Weblog(ウェブログ)の略で、時系列に並べられた日記風の記事と、それについてのコメントが定期的に更新されるウェブサイトのこと。
	マイクロブログ	マイクロブログは、ブログの一種で、パソコンや携帯電話等で200字程度の短い文章(「つぶやき」と呼ばれることが多い)を書いて公開するブログ。ミニブログとも呼ばれる。
	電子掲示板(BBS)	電子的な掲示板サービス。あるユーザが掲示板にメッセージを書き込むとグループ全員に見えるようになる。また、そのメッセージに対する返答を書き込んだりすることができる。
	チャット	ネットワーク上で参加者同士が文字による会話を同時に行なえるようにしたサービス。複数の参加者が同時に会話することが可能で1人の発言(文字)は全員が見ることができる。
	ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)	参加者が互いに友人を紹介しあって、新たな友人関係を広げることを目的に開設されたコミュニティ型サイトのこと。多くの場合、サービスに入る際に会員からの紹介が必要となる。
	P2P	インターネットを介して不特定多数のコンピュータの間でファイルを共有すること。
	FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットを介してホスト間のファイル転送を行うこと。
	インターネットオークション	インターネット上で物品の売買をしようとする者のあつせんをオークション(競売)の方法により行うサービスのこと。
	ネットバンキング	インターネットを利用して行う、銀行の様々な手続きや取引のこと。
	ネットトレード	インターネットを利用して行う、株取引のこと。
	モバイルバンキング	携帯電話などのインターネットサービスを利用した上で行う、銀行の様々な手続きや取引のこと。

通信利用動向調査 用語の解説

【企業編】

問1 企業における通信網、インターネット等の構築・利用状況		
	広域イーサネット	LAN規格であるイーサネットで使用されているスイッチングハブを組み合わせ、構築した広域ネットワーク・サービス。
	IP-VPN	Internet Protocol - Virtual Private Network の略。電気通信事業者の閉域IP網を経由して構築されたセキュリティの高い仮想専用網サービス。
	インターネットVPN	公衆網であるインターネットを経由して構築された仮想専用網サービス。
	専用線	特定区間をダイレクトで結び、専有して利用する通信サービス。
	フレームリレー	伝送するデータを可変長の「フレーム」という単位に分割して送受信する通信サービス。
	セルリレー	伝送するデータを固定長の「セル」という単位に分割して送受信する通信サービス。
	ASP	Application Service Provider の略。ビジネス用アプリケーションソフトをインターネットを通じて顧客に提供する事業者。
	SaaS	Software as a Service の略。ネットワークを通じて、アプリケーションソフトの機能を顧客の必要に応じて提供する仕組み。
	クラウドコンピューティング	データサービスやインターネット技術等が、ネットワーク上にあるサーバー群（クラウド(雲)）にあり、ユーザーは今までのように自分のコンピュータでデータを加工・保存することなく、「どこからでも、必要な時に、必要な機能だけ」利用することができる新しいコンピュータ・ネットワークの利用形態。
問2 電子商取引		
	電子商取引	インターネットを用いて財やサービスの受発注を行う商取引等の総体のこと。
	テキスト広告	文字のみで構成されているインターネットのウェブサイト上にある広告。
	バナー広告	ウェブページ上で他のウェブサイトを紹介する機能を持つ画像で、クリックするとそのバナーのウェブサイトへリンクするもの。
	リッチメディア広告	マウスの動きに合わせて表示が動いたり、ストリーミング技術で動画を表示したりするような音声や映像を活用しているインターネット広告。
	コンテンツ連動型広告	ウェブコンテンツの文脈やキーワードを解析し、内容と関連性の高い広告を表示するもの。
問3 テレワーク		
	テレワーク	会社建物から離れたところに居ながら、通信ネットワークを活用することにより、あたかも会社建物内で勤務しているような作業環境にある勤務形態のこと。具体的には、在宅勤務、モバイルワーク(営業活動などで外出中に携帯情報端末で作業する場合)、サテライトオフィス(会社のオフィス以外のオフィスで作業する場合)と呼ばれるもの。

通信利用動向調査 用語の解説

問5 情報通信ネットワークにおける安全対策		
	不正アクセス	政府機関、企業、団体等の内部のコンピュータ・ネットワークに外部から正規の手続を経ずに不正に侵入する行為。
	スパムメール	受信者の都合を無視し、無差別にメールを大量配信するメールのこと。
	Dos(DDos)攻撃	サーバーに大量の packets を送ってシステムをダウンさせ、サービスを不能にする攻撃。
	セキュリティポリシー	情報システム等において、安全確保のための明らかにする指針のこと。
	セキュリティパッチ	ソフトウェアに脆弱性やセキュリティホールなどが発見された際に、それらの問題を修正するためのプログラムのこと。
	不正侵入検知システム(IDS)	ネットワーク上に流れる packets を監視し、攻撃や不正アクセスの兆候・可能性を検知して管理者に通報するシステムのこと。 なお、本調査においては、不正侵入防御システム(IPS)もこれに含めて調査・集計している。
	プライバシーポリシー	インターネット上のサービスにおいて、サービス提供者が明らかにするサービスを受ける者の個人情報取扱方針のこと。
	CIO	Chief Information Officer の略。日本語では、「最高情報責任者」、「情報システム担当役員」、「情報戦略統括役員」など。企業や行政機関等といった組織において情報化戦略を立案、実行する責任者のこと。